

刊夕 日九月二



定額一冊金五圓 廣告料五圓 印刷費五圓 發行所 常盤郡日新町 電話六三〇〇

常磐炭田の開発と

片寄平藏

山口 彌一郎

2 村人との關係
越後より大浦に移住した一族は他國人であるため在來の農家の人々と親交は少なく種々折合はないこともあつた。利兵衛一家は材木商で江戸との取引も次第に多く、財産も相當多く村人の上位にあつたため村人は他國人が何をするかと言ふ様なねたみもあつたらしく、村の山之神講で村人と折合はず代官所に歎願した次の文書が當時の平藏の地位を物語る資料となる。
乍恐以書奉歎願上候御事 磐城郡大森村

實南天

名も知らぬ小鳥來て食む實南天
軸替へて書院明るし實南天
傾ける軒に一本實南天
旅の朝手洗に人あり實南天
今朝の雪南天の實のこぼれけり
料理屋の庭の稻荷や實南天
實南天鉢ばかりある花壇かな
實南天子供ぞせがむ背の上
さらさら雪のこぼれて實南天
南天やけさ南風の吹きやます

閑月 秀峰 鐘樓 紅果 紅果 湖亭 良鳥 千美 十絲

ノット

一度使つた毛糸は二色を合はせて軽く撚をかけたがらメリヤス編でズボンやチヨヅキを編みますと面白いものが出来上ります
に相加り農業に出精いたし罷在候處當村若もの突合之儀は春秋兩度壹箇年二度宛山之神講となぞらへ參會有

之候處三組相謀り壹組に付壹人づゝ若もの仲問世話人之儀一統連判を以相立候仕來に御座候處今般世話人立替度旨申し定例の通私共へも相談有之候へば是迄世話人に而も可然旨及挨拶候得へば是非立替度段申候に付取締にも不相成ものは勿論年弱等のものにては連判相成兼候旨申聞候處其後に至り候而は私共親類のもの共は何等の引合も更に無之是迄の規矩を相破り私共親類は一統連判相除外連判而已にて世話人相立候段難心得儀と乍恐奉存候尤突合延引と申筋改る所を請候儀には敢て無之候得共自然と村世突合追々不相成様被存上誠以心外至極残念に奉存候右躰不實の取計を受候村方人別高に相加り罷在候、而は此上後難の程茂難計歎敷奉存候間私とも親類一統之儀は何卒以御慈悲當村人別高御除被成下御領分内何れの村方成共人別替儀之奉願上候、尤候村方人別高に相拘り候儀を奉願上候、而は村内に對し不宜筋にも奉存候得共全く以村役人中は勿論村中に意恨等を差含奉願上候儀には聊無之前條にも奉申上候通り右躰不實之取計受候様にては當村人別高に相加り罷在候、而は是れも御百姓相續も無覺束奉存候

木村外科醫院

右願書の結末は明瞭でないが人別替にもならず其後村人との折合も悪化はしなかつたやうである。當時平藏は三十二歳で天保十二年二十九歳で忠次郎は死亡し家督を繼いで間もなく商賣上にも相當な手違ひがあり困窮時代であつた。當時既

平町五丁目橋際 電話九〇三番

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

御用命の印刷物
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由に讀める
川崎文庫 電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

貨切の御用命の際は是非電話六四〇番尼子タクシーへ御願します。
◆新車も購入致しました。
平二丁目 尼子タクシー部 電話六四〇

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五一三番

謝恩と奉仕
燃ゆる大塚へ……
靴!! 五圓以上一割引
● 嶄新なるスタイル
● 精選された材料
● 堅牢極まる品質
● 驚く可き廉價
既に覇權を確立せる……
大塚の靴
平・田町 大塚製靴部 電話七十七番

歳末狂騒曲は

今や急テンポ

旗と立看板の街頭情景

だが笛吹けど踊らぬ客

「正月」も早や五日の後に
迫り今平町は舊歳末の遽だ
としさの嵐に包まれてゐる
この寒空にもかかは
らず本町通りは可成りに人
足繁く各商店が人眼を引か
うとして色彩鮮やかに塗り
まくつた立看板・冷風に打
たれてなびく旗幟は流石に
歳末らしい情景を示してゐ
る多くはお定りの「舊歳末
景品付大賣出……」とか銘
打つて購買慾をそそらうと
して居る

「正月」も早や五日の後に
迫り今平町は舊歳末の遽だ
としさの嵐に包まれてゐる
この寒空にもかかは
らず本町通りは可成りに人
足繁く各商店が人眼を引か
うとして色彩鮮やかに塗り
まくつた立看板・冷風に打
たれてなびく旗幟は流石に
歳末らしい情景を示してゐ
る多くはお定りの「舊歳末
景品付大賣出……」とか銘
打つて購買慾をそそらうと
して居る

「正月」も早や五日の後に
迫り今平町は舊歳末の遽だ
としさの嵐に包まれてゐる
この寒空にもかかは
らず本町通りは可成りに人
足繁く各商店が人眼を引か
うとして色彩鮮やかに塗り
まくつた立看板・冷風に打
たれてなびく旗幟は流石に
歳末らしい情景を示してゐ
る多くはお定りの「舊歳末
景品付大賣出……」とか銘
打つて購買慾をそそらうと
して居る

遠く東京仙臺から

卓球選手参加申込

來月四日平第三校で

關東北選手権大會

平卓球協會主催の第一回關
東北個人選手権卓球大會は
來月四日午前九時より平第
三小學校に於いて開催され
るが出場資格は年齢に制
限なく會費三十錢にて東京
仙臺方面の一流選手より既
に申込あり非常な熱戦を豫
想されて居る尙申込みは三
月一日迄に大塚運動具店へ

平の兒童に

近視眼が多い

寒心すべき最近の傾向

平町教育會では最近小學校
兒童に異狀視眼の兒童が増
加する傾向があるので過般
來第一、第二、第三各小學
校兒童四千二百八十名に對
し嚴密な検眼を試みたところ
四年生以下の兒童には殆
んどないが五年生になると
急激に増加し五年生五百八

十名、中近視百七十三名亂
視其他七名、六年生五百三
十名、中近視百二十八名、
亂視其他九名に達してゐる
事判明した

夏井村祈年祭 夏井
村に鎮座する縣社大國魂神
社では來る十八日祈年祭を

執行するが同村々社白山神
社は十七日、新山神社は十

八日同じく祈年祭を行ふと

發動機取扱

平署で三日間講習

平警察署では管内各町村に
於ける發動器電動器等を使
用する者の爲めに本月下旬
頃同署會議室で縣の石坂技

手を招き器械取扱に就いて
三日間の講習會を開くべく
準備中

三坂村長の椅子を

巡つて三派の暗躍

廿日の村會に一紛擾か？

三坂澤渡組合村では本月廿
日頃村會を招集し前村長田
子英吉氏の後任村長を附議
するが現助役佐藤倉藏氏の
昇格派と現消防組頭永山久

助派及び村議平山藤吉派の
三派が對立し互ひに暗躍中
なので相當波瀾を起すもの
と注目されて居る

魚買入百五萬圓

昨年中に小名濱市場が支拂

小名濱町魚市場が昨年中に
漁船に支拂つた魚買入高は
合計百五萬六千圓の巨額に
達して居るがうち郡内漁船
に支拂つた額は五十三萬四
千圓、郡外廻航船には五十
二萬二千圓である

氏五男誠
回死 亡
△正月町九新四郎氏孫石川
和子(二ツ)
△仲町一當時東京市葛飾
郡小松町二六二吉田弘子
(一ツ)

聾女卒業試験 既報

來る三月十八日卒業式を舉
行する聾女では來る二十三
日より三日間卒業試験を行
ふと

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一七〇

平町人事

△二丁目二六當時東京市中
野區富士見町五安田季三

平町南町
電話一七〇

体温計の検査日です
10日
検査機 新設 お宅の体温計は？
◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい

西村屋藥局
電話三番

江戸前料理
御婚禮壽料理
松壹圓廿錢、竹壹圓五拾錢、梅貳圓
道具一式五十名迄設備あり

錦水
日本料理
仕出し専門
電話四五四番

かまぼこ製造
お惣菜用
さつま揚
吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

朝鮮美人が

平署に泣込む

抱主の家を逃走

暴力團に襲れて

渡邊特高の鮮かな裁き

昨日午後三時頃平署へ親子連れ朝鮮美人が暴力團に殺されるからと

泣き込んで

朝鮮全羅南道關知島生れ田中まさ事尹千蘭(一)と母尹順女(二)の兩名で渡邊特高主任が取調べると尹千蘭は昨日抱主である茨城縣眞壁郡笠間町宇荒町飲食店

明月館事

金鳳壽方の前借二百三十圓を踏んで平町迄逃走し來つたのを直ぐ

追跡した主人に捕つたが最初は雇主の金が昨年五月右の金を妻にするとして八十圓の金を母親に渡し前記笠間の自店に連れ込み客取りを強ひた上借金はつりつ

小名濱海岸に

溺死体が漂着

宮城女川町の漁夫と判明

小名濱町宇境地内漁業組合事務所前波打際に来る六日午前八時頃漁夫姿の溺死體が浮上つて居るのを通行人が発見直に届出たので同地警部補派出所員が檢視せる結果右は宮城縣牡鹿郡女川町宇裏宿居住漁夫數又幸吉

古河炭礦の旗行列

紀元節當日盛大に

好間村古河炭礦では來る十一日の紀元節當日全従業員の遙拜式を擧げた後全従業員の旗行列を行ふと

奉公先の

自轉車で逃亡

河沼郡八幡村宇塔寺居住須貝龍藏氏義弟塔崎寅男(三)は昨年奉公先の山形縣米澤市外上郷村齋藤鐵雄方の自轉車を窃取し是れに乗つて小野新町を経て平町に入

脅喝三人男

懲役一ケ年に本日言渡さる

本日言渡さる

既報平町町松本清之丞(三九)同正木昌太郎(二)内郷村大字綴綿引司馬之介(四)の三名に係る植電脅喝事件の判決は本日午後一時半より平支部に於て中島判事係り關口、赤穂兩判事陪席三堀檢事立會の下に開廷されたが裁判長より檢事の求刑通り各被告に懲役一年を言渡された

根本小頭表彰

川前村消防組小頭根本春藏氏は此程退職したが在職中の功勞に依り縣保安課より表彰された

赤井青年總會

赤井村青年團では明日午後一

明日の天気
今晩も明日も西の風曇

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
童話「名犬バルト」莊司義孝
後六、二五 ことばの講座
第八講「濁音の話」神保格
後七、三〇 講演「日本國

今晩の部
後八、〇〇 漫談「風景互理君と脱毛刺」近藤伊與吉その他
後八、三〇 小唄堤になびく外七ツ唄田村てる藤三味線田村てる香
後八、五〇 獨唱と管絃樂

を通過させた内郷村御座の野木某さん水深際位しかなし新川にまさか身投げも變だと考へる暇もなく同じく勇敢に新川へ飛び込んで身投げ者何處と探すとはいかに十六才位の按摩さん川の真中に突立つて何處から上つて良いのやら見當がつかずまして命から二番目の杖

寒さと飢に泣く

窮迫の人に救の手

現金と白米を

方面委員總出で配給

既報平町役場では舊正月の貧困者救済の爲め豫てより諸般の準備中であつたが此程準備完了し昨八日役場吏員及び方面委員總出動で貧困者百五戸、人員四百八名に對して現金及び白米を給與した

拾つた話

冷々と夜風吹き荒ぶ昨夜八時頃長橋町の尼子橋上から「南無阿彌陀佛」とも何んとも云はず身を躍らせて投身したものがあつた、折良くそこ

内郷村の

花札賭博

内郷村町田磐炭採炭夫鈴木武雄(二)方昨夜八時頃同宇居住無職三浦長市(三)同

明日の部
前七、〇〇 基礎獨話講座(十四)橋本忠夫
前九、一〇 料理献立「鯛の大和焼」
前九、三〇 家庭講座「編物」(四)山脇敏子
後〇、〇五 ジャズ獨唱付一、お、誰故に二、戀の大

明日の部
後八、〇〇 基礎獨話講座(十四)橋本忠夫
前九、一〇 料理献立「鯛の大和焼」
前九、三〇 家庭講座「編物」(四)山脇敏子
後〇、〇五 ジャズ獨唱付一、お、誰故に二、戀の大

は流れて途方に暮れつゝ寒さに震へて居る漸く助け上げて事情をきくと餘りの寒さに杖持つ手が痛く杖を腰に懷手をしてぶらぶら歩きの横着を極め込み見當違ひから斯くの始末と判り勇敢なる流石の野木さん口アングリとは飛んだナンセンス幕

平職業紹介所報告

- △女工 三十迄 尋卒 給料面談
- △給仕 十五才 尋卒 日給三十錢
- △兒守 十三前後 尋卒 月三四圓
- △電工見習 二十迄 高卒 給料面談
- △回職を求める方 給料面談
- △事務員 二十才 中五在 給料面談
- △雜役 十七才 高二中退 給料面談
- △木工職 二十三才 高卒 給料面談
- △店員 二十七才 佑賢卒 給料面談
- △土工夫 四十六才 尋卒 給料面談



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第五百十四回 徳川家に崇る村正

金澤時の大危難

新「それから」下女を一人連れて行かなければおきくが手廻りの物に困るだらう」
「お父さん、私はあのおまつを連れて行きます」
新「ア、あれも正直者だからさう云ふ事にして」

○「この近所は道が悪いので私共が集つて道普請をしたので金をちつと置いていかなくつちやいかねえ」
二「山が是れを聞いて二「何じや往來の道普請をした金が欲しい、いや田舎へ出るとこんな事もあるも

といふからその金をやるのだ」
○「さうさな二十八文か三十二文の金を貰つて有難うございますといふのぢやねえ、構ふ事はねえから手前達残らず裸になつて行け、それで宜いのだ」
二「ナ、裸になつて行くと手前達は道中の荒稼ぎをする山賊だな」
○「知れた事だ、此の四五日往來のねえのは、此方等が餘り出張つて居るものだから、噂を聞いたと見えてちつともこの金澤時へ来る者もねえ、今日来たのは此方等の幸せ、手前達の不運



と不意に言葉をかけられ何であるかと様子を見ると、往來中に立つて居る大きな野郎
○「お前方は此處を通るのか」
金「身延山へ參詣の者で、から茲を通ります」

んぢや、今遣るよ」
二「山は腰に差してゐた錢入から取出した端金
二「サア御苦勞でござんす、少しばかりだが」
○「オイ相撲取り何だこれ」
二「お前方が道普請をした

だ、相撲取りの二人や三人そんな事で驚くんぢやねえ……」
と言ひながら一人の奴が懐中から笛を出し、ビィ〜と呼子を鳴らすと、ワアワツといふ人聲が、と思ひ取りだから大きい、それが

「これはしたり關取り、何かあれへ出たやうだ」
二「ヤア驚く事はござんせん私共さへ附いて居れば、それが爲め大旦那から吩咐かつた道中の用心棒……宜いか越見瀧」
越「合點だ」
と越見瀧は拳を固めて賊共へ打つてかゝります、その中に出て來たのを見ますと、此二三人大きく驚いて逃げやうとしたが、いけ「ソレツ」と云ふとおきを據いて金次郎も據がれて行く様子、五六人を相手にして居りました二子山角太夫が
二「キヤアウぬどうするか見ろ」
とやつて居ります内に、どうして山賊ながら腕に覺えのある奴と見えて、忽ちにして二子山は持つて居た手頃の棒を打ち卷かれ、是はと思ふと突然引ッ組んだ、相撲取りだから組めば此方の物と思つた故、暫らくの間、争つて居ります、此奴餘程の力のものを見て、組んでゐたのがほぐれてドーンと突かれた二子山の相撲取り疲れて居た處へ胸板をした、が突かれ、ド、ド、ド、と腰が砕けてヨロヨロ生憎谷でござんすから、ゴロ〜と轉り落ちたするど丁度通り掛つた一人の武士、峠の方に何か人聲がする、ハテナ道が違つたかなと思つて居る處へゴロ〜と普通の人間ぢやない相撲取りだから大きい、それが

轉がつて來た、オヤ〜人が降る様な天氣ぢやないと思つてゐたのに、是は何事かと見る中バツタリそれへ倒れるとウーンと言つて氣を失つた様子、武士は側へ寄りまして
武「コレ〜しつかりしろ……」
抱き上げて見ると氣も付かん様子
武士「エ、ツ」
と活を入れると
二「ウーン、サアこいこの野郎、俺を誰だと思つて居る信州の相撲二子山誰でも來い、片端から相手にするから」
武士「コレ〜待て、氣が付いたか、コレ」
二「ハイ……ヤア貴方はお武家さんで……」

花柳病科 小兒科 内科
藤沼醫院
入院應需

町番 七〇五 紺屋 町 電話
市原醫院 平町 田町 電話二一四番

評判で香りのよい
電熱ほうじ茶發賣

一號 一斤六〇 四半斤 一五
二號 一斤四〇 四半斤 一〇

大勝園 茶の間の玉々客間王
お勝手道具は世帯王
父様母様おすきの茶
客のほめる茶喜ぶ茶

大勝園 電三九六番

理想の治淋薬出現す

一般賣藥、熱療器類に不満を感じた患後の良薬として本薬を紹介します。
◎本薬は有り觸れた白檀油系統の平凡薬でなく、独自の注射原薬を主剤とし外に洋薬及漢薬數種の特効成分と利尿薬が配合され特に胃腸腎臟障害等の副作用を絶無ならしめた安全薬で又錠劑で有ります。

配合原薬注射内服殺菌強力

ザロス

消渴 淋病

分用 症用 重症用
試 用 分 用 症 用 重 症 用
¥2.00 ¥3.00 ¥5.00

發賣元不二藥品商會
平町田町(松月堂向イ)
特約店 **阿部薬舗**